

アービタックス®の治療を受けられる方へ

- アービタックス®は結腸・直腸がんに用いられます。他の抗がん剤(FOLFIRI療法、FOLFOX療法、イリノテカンなど)と併用したり、単独で使用します。

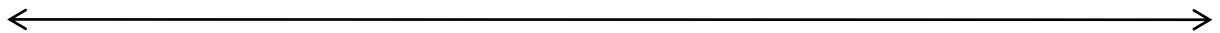
投与スケジュール

1日目	2日目以降
アービタックス®	休薬期間



点滴

点滴前に
副作用を予防する
薬を点滴します。



1週間ごとに点滴を繰り返します。

主な副作用と発現時期

次のような症状があらわれたら、医療スタッフにお知らせください。
※ 個人差があるので、その他の副作用についても十分注意して下さい。

投与中～数時間

●アレルギー反応(インフュージョンリアクション)

投与後～数週間

●ニキビのような発疹(ざ瘡様皮疹) ●皮膚乾燥

6週目～

●爪周囲炎(爪の周りの炎症) ●間質性肺疾患

◇アレルギー反応

まれに、めまい、熱っぽさ、寒気、息苦しさ、発疹のようなアレルギー反応が出ることがあります。

事前にアレルギー反応の予防薬を必ず投与しますが、**アレルギー症状を感じたらすぐに医療スタッフに連絡してください。**

◇間質性肺疾患

最初は息切れや空咳、発熱など、風邪や肺炎に似た症状が現れます。重症になると呼吸困難を引き起こします。

息切れや空咳、発熱などの症状を感じたらすぐに病院に連絡してください。

◇心臓の機能低下

まれに心臓の機能が低下し、胸の痛み、動悸、息切れのような症状が出ることがあります。

胸が痛い、苦しいなどの異常を感じたらすぐに病院に連絡してください。

◇皮膚症状(皮疹、皮膚乾燥、爪周囲炎など)

ニキビのような発疹、皮膚の乾燥、爪の周りの炎症などが起こることがあります。

- 皮膚症状を予防するために保湿剤を使って皮膚の乾燥を防ぎましょう。
- 直射日光を避けたり日焼け止めを使ったりして皮膚への刺激を避けましょう。
- 体を洗う際にはぬるま湯で刺激の少ない石鹸を使いましょう。
- しめつけの強い下着は避け、きつい靴は履かないようにしましょう。
- 日頃のスキンケアや、症状に合わせた薬で早期に適切な治療をすることが大切です。

◇下痢

イリノテカンと併用される方に多くみられます。脱水症状を防ぐために十分に水分の補給を行い、下痢がひどい場合は医療スタッフに相談してください。